

2019年度
地域産業支援プラットフォーム
公開セミナー

OIT-P

Osaka Industrial Technology Platform

2020.2.26 (WED)

「ナノ材料」「ロボティクス&デザイン」「知的財産」で
ものづくり大阪に躍動感を

大阪工業大学は、このたび、本学の特色ある研究分野である「ナノ材料」「ロボティクス&デザイン」「知的財産」の力を結集し、地域企業のIoT知的機器開発やそれを活用したサービスの社会展開をサポートするプラットフォーム、地域産業支援プラットフォーム（OIT-P）を始動し3年目を迎えました。OIT-Pは、大阪産業技術研究所や大阪商工会議所と連携して、地域企業とのネットワークを構築し、特に「環境・健康モニタリング機器」「次世代家電システム」「生活支援ロボット」などを中心として活動していきます。

2月26日（水）、本学 大宮キャンパスにおいて、**地域産業支援プラットフォーム 公開セミナー**を開催致します。

本プラットフォームへの理解を深めて頂くため、皆様のご参加をお待ち申し上げます。



2019年度 地域産業支援プラットフォーム公開セミナー

2020年2月26日(水) 13:00~18:00 (12:30受付開始)

大阪工業大学 大宮キャンパス (大阪市旭区大宮5-16-1)

2/26
(WED)

13:00

?

18:00

【申込方法】

本学ホームページよりお申込みください。 <http://www.oit.ac.jp/japanese/topics/index.php?i=6033>

【申込締切】

2020年2月19日(水) 17:00 ※定員(100名)に達したとき、期限前に申込を締め切ることがあります。

【プログラム】

12:30 受付開始

13:00~13:05 開会挨拶

13:05~14:15 「フレキシブルIoT/AI システムで創る未来社会」
大阪大学 総長補佐/栄誉教授 関谷 毅 氏

14:15~14:25 休憩(10分)

14:25~15:35 「人と地球にやさしい社会に向けて~これからの時代を支える技術開発~」
大阪ガス株式会社 エネルギー技術研究所部長 西田 亮一 氏

15:35~15:45 休憩(10分)

15:45~16:45 OIT-P研究報告 大阪工業大学OIT-P グループリーダー 6名

・材料開発(機能)グループ	応用化学科 教授	藤井 秀司
・材料開発(構造)グループ	機械工学科 教授	上辻 靖智
・デバイス開発(半導体)グループ	電子情報システム工学科 教授	小池 一步
・デバイス開発(生体)グループ	生命工学科 教授	藤里 俊哉
・システム化・社会実装グループ	システムデザイン工学科 教授	松井 謙二
・ソリューショングループ	知的財産学科 教授	杉浦 淳

16:45~18:00 ポスターセッション(18:00 終了)



地域産業支援プラットフォーム(OIT-P)のご紹介

大阪産業技術研究所や大阪商工会議所と連携を基盤とする地域企業とのネットワークにより、本学の特色ある研究分野である「ナノ材料」「ロボティクス&デザイン」「知的財産」の力を結集し、「環境・健康モニタリング機器」「次世代家電システム」「生活支援ロボット」などで事業展開をお考えの企業を応援することを目指しています。技術イノベーション拠点とビジネスイノベーション拠点で進められる研究を融合し、技術シーズの提供や共同研究の推進から、デザイン思考に基づく開発や実装に向けた知的財産戦略面からのサポートまで、広い範囲を包括する体制で地域のモノづくり企業の皆様とともに、活動していきます。

【技術イノベーション拠点】

本拠点は、工学部の研究者からなる「材料開発(機能)グループ」、「材料開発(構造)グループ」、「デバイス開発(半導体)グループ」、「デバイス開発(生体)グループ」で構成されています。

材料開発(機能)グループ

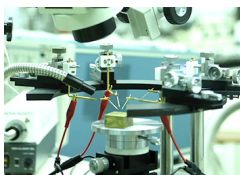
グリーンケミストリーを基盤とすることで、有機、無機、およびハイブリッド機能性材料を創出し、環境、エネルギーに貢献する技術開発を行っています。

材料開発(構造)グループ

スマートデバイスの材料設計・開発、介護機器やロボットの軽量化のための材料製造プロセスの開発、異種材料接合技術の開発等を行っています。

デバイス開発(半導体)グループ

化合物半導体やグラフェンを用いて透明フレキシブル回路、バイオセンサー、ガスセンサー、紫外線・放射線センサー、テラヘルツ発生・受信素子の開発を行っています。



デバイス開発(生体)グループ

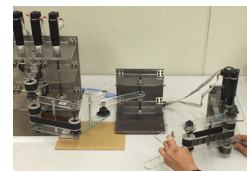
微細加工や生体環境模倣技術を用いた高度な細胞培養デバイスにより、幹細胞や筋組織を培養します。また、その筋組織をアクチュエータや疾患モデルに利用します。

【ビジネスイノベーション拠点】

本拠点は、ロボティクス&デザイン工学部の研究者からなる「システム化・社会実装グループ」と知的財産学部・同専門職大学院の研究者からなる「ソリューショングループ」で構成されています。

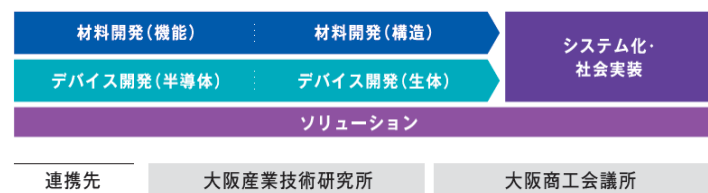
システム化・社会実装グループ

AIによる会話見守りやアメニティ向上の次世代家電システム、IoTマルチセンシングを活用した、歩行等を補助する生活支援・リハビリ・介護支援機器の開発を行っています。



ソリューショングループ

シーズ・ニーズ情報の分析や知的財産を戦略的に活用した産学連携推進モデルの構築とその適用を行っています。



※研究メンバーの詳細は以下へアクセスしてください。
<http://www.oit.ac.jp/oitp/>

お問い合わせ先

研究支援・社会連携センター

TEL : 06-6954-4140 FAX : 06-6954-4066

E-mail : OIT.Kenkyu@josho.ac.jp



<http://www.oit.ac.jp/oitp/>